

おおたの未来づくり全体計画

① 創造的な資質・能力の育成に関する児童の実態

- ICT機器を活用し、最後まで課題に粘り強く取り組む力が伸びた児童が多い。
- 自分のもち味を更に發揮できる余地のある児童が多い。
- 新しいことにもっと挑戦できる可能性のある児童が多い。

② 教科等横断的な学習の充実と創造的な資質・能力の育成に関する地域や家庭の願い

- 地域や家庭の人々との交流を通して、自ら考え、判断し、行動できる力を高めてほしい。

本校の教育目標

- 未来を切り拓く子ども 友達を大切にすることも 運動で体をきたえることも 本気で学ぶ子ども よく聞き話せる子ども

③ 教科等横断的な学習の充実と創造的な資質・能力の育成に関する社会の要請

- 笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育ててほしい。
(おおた教育ビジョン)

④ 地域の特色と活用したい地域の教育資源

- 地域には、古くからある南蒲田北野神社があり、児童が伝統的行事に触れる機会がある。また、境内には梅の木が多く植えられている。
- 梅屋敷には、梅の名所や梅にまつわる歴史が残っている。
- 江戸時代に山本久三郎が梅の木を集め梅屋敷という茶屋を開いたという歴史ある土地が身近である。東海道を行く旅人のための土産として麦わら細工などが売られていたと言われている。
- 児童にとって身近な公共施設や公園、商店が数多くある。
 - ・蒲南茶荘 ・キネマ通り商店街 ・南蒲田北野神社 ・大田区産業プラザ Pio
 - ・大田区総合体育館 ・東蒲田公園 ・蒲田図書館 ・大正湯
 - ・聖蹟蒲田梅屋敷公園 ・大田区郷土博物館 ・大田区観光情報センター

育成を目指す創造的な資質・能力

- 「未来を切り拓く力」
- 目指す子ども像
「もち味を生かして挑戦する子ども」

⑦ 関連する第5学年及び第6学年の学習内容

- 総合的な学習の時間「プログラミングをしよう」、「SDGsについて学ぼう」
- 国語「発見、日本文化の魅力」、「みんなが使いやすいデザイン」
- 社会「願いを実現する政治」、「わたしたちの生活と工業」
- 図画工作「私の感じる和」、「あつらいい町どんな町」
- 家庭「共に生きる地域での生活」、「いっしょに『ほっとタイム』」
- 外国語「地域のことを伝えよう This is our town.」、「おすすめの場所を紹介しよう You can drink Japanese tea.」

⑥ 学習効果を高めるために連動して実施する教育活動

- プログラミング教育
- 学校情報化の取組
- 開校65周年行事
- タイピング練習・検定
- SDGsについての学習
- 学校行事など

⑤ <第5学年の具体的な内容>

「東蒲オリジナルブレンド茶づくり」 35時間【Aものづくり】

〔目標〕

学区域で創業100年近くになる蒲南茶荘と連携し、東蒲小オリジナルブレンド茶をつくる活動を通して、相手に受け入れられるコンセプト設定や企画、発信を行うために必要な知識・技能等を身につけ、収集した情報やアイデアを視点をもって整理・分析する思考力、判断力、表現力等を高め、もち味を生かして協働しながら粘り強く取り組む力を育むようにする。

〔連携する外部機関〕

- ・蒲南茶荘
- 〔協力依頼する事項〕
- ・オリジナルブレンド茶の開発、販売についての指導、助言、講評

<第6学年の具体的な内容>

「今によみがえる大森麦わら細工」 35時間【B地域の創生】

〔目標〕

大森麦わら細工の会や大田区郷土博物館と連携し、大森麦わら細工を地域に飾り、地域を活性化させる実践を通して、大森麦わら細工を保存、継承する人々や、地域を訪れる人々に受け入れられるコンセプト設定や企画、発信を行うために必要な知識・技能等を身につけ、収集した情報やアイデアを視点をもって整理・分析する思考力、判断力、表現力等を高め、もち味を生かして協働しながら粘り強く取り組む力を育むようにする。

〔連携する外部機関〕

- ・大森麦わら細工の会
- ・大田区立郷土博物館
- 〔協力依頼する事項〕
- ・大森麦わら細工についての指導、助言、講評

⑧ 各教科で削減する授業時数

総合的な学習の時間	15時間
国語	8時間
社会	5時間
図画工作	2時間
家庭	2時間
外国語	3時間

⑨ 第1学年から第4学年において各教科等の学習を通して育成する創造的な資質・能力の素地

- 問題の発見や解決に向かって、自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付ける。